

令和2年7月17日

日本医学会連合・日本医学会から皆様に向けてのメッセージ

一般社団法人日本医学会連合・日本医学会  
会長 門田守人

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的拡大が続いています。2020年4月7日に安倍晋三内閣総理大臣より7都府県に対し緊急事態宣言が発出され、4月16日には対象が全国に拡大されました。医療現場では、感染者の急増による医療供給体制の逼迫、医療従事者にとって必須な感染防護具の不足、医療施設内のクラスター発生、などの困難な問題に直面いたしました。一般社団法人日本医学会連合と日本医学会は4月29日、加盟136学会の理事長・代表理事と共に「緊急提言-進行する医療崩壊をくい止めるために」を発出し、安倍晋三内閣総理大臣に申し入れを行いました。その中では、(1)PCR検査体制の拡充と抗体・抗原検出体制の早急な確立のための支援、(2)個人用防護具の充足、(3)医療従事者への支援体制の確立、等について緊急対応を求めました。その後、関係機関、関係者の一定の対応と全国民の協力による人と人との接触の減少により、新規感染者数が減少に転じたことから、5月25日に緊急事態宣言は解除されました。

しかしながら、一定期間をおいて新規感染者数は再び増加に転じています。特に首都圏の感染者の増加が著しく、東京では連日200名を超える新規感染者数が報告されています。

現時点では、積極的なPCR検査の実施により、無症状や軽症の方の感染者が多く含まれていることから、中等症・重症患者を収容する医療体制は必ずしも逼迫しているとは言えません。しかし、今後さらに感染者が増加すると、中等症・重症患者も増加することが予想されます。また、基礎疾患をお持ちの方やご高齢の方が感染すると、一気に中等症・重症患者が増加し、医療供給体制が困難な状況に陥ることが懸念されます。

政府は、医療のこののみならず、経済回復のことも考慮せねばならず、時に両者は二律背反であり、あらゆる国民の不安に十分こたえるのは大変困難なことなのではないかと推察されます。

この状況の中、国や自治体の最終的な判断や指示を待っておられる方々もいるかもしれませんが、国民の皆様も正しいと思われる行動を主体的に起こさねばならないのではないのでしょうか。特に、我々は専門家集団として、皆様にわかりやすく正しい情報を手遅れにならないうちにお知らせする義務があると考えています。ここに、これ以上感染拡大を起こさず、安定した医療体制を継続していくために、我々側からも積極的な発信を行いたいと思います。

以下に、注意していただきたいポイントを記載いたします。

1. 手洗いが大切です。こまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。
2. 3密（密閉・密集・密接）の環境を避けましょう。数十人以上集まるイベントや会合には、今どうしても参加しなければならないのか一人一人がよく考えて、賢明な行動をとりましょう。特に高齢者、子供、介護を必要とする方々などと接触することが多い仕事をしている方々は、その人たちへ自分が感染させてしまうリスクのこともよく考えて慎重に行動しましょう。
3. マスクは他者への感染リスクを減らすことができます。また、自身も鼻や口に手を持っていく機会を減らす効果も期待できます。夏の外出時、ソーシャルディスタンス（人と人との距離を2m、最低でも1m）が確保できる換気の良い場所では外してもよいでしょう。
4. 発熱や風邪の症状がみられるときは、学校や会社を休んでください。
5. 基礎疾患をお持ちの方、ご高齢の方は、できるだけ人混みを避けるなど、より一層注意してください。
6. 飲食店での会食や接待を伴う店での集団感染の報告が増加しています。食事をする場合には、どうしてもマスクを外すことになります。その際に、会話をすると飛沫が相手の口に入るチャンスを増やします。ウイルスにとっては、願っても無いチャンスです。昔、多くの子供が母親や祖母に言われたように、「食べるか、喋るかどちらかにする」ことが重要です。どうしても仲間と歓談したいときは、食事を終えてマスクをしてからにしましょう。そうすれば、感染のリスクを減らすことができます。

難しいことではありません。飛沫を可視化する想像力と、自分の身を守る注意は当然のことながら、思わぬ危害を自分の大事な人に与えない「思いやり」を持つことが重要です。

過度に恐れず、ウイルスのツボを押さえて活動することが、医療と経済を両立させる方法でもあると考えます。この感染症を医学的に解明し、有効で安全な予防法や治療法を確立するには慎重なプロセスと一定の時間を要します。こういった研究の成果を待っていただく間、今わかっているウイルスの性格をわきまえて行動し、感染拡大から医療崩壊を招かないようにすることが求められています。このことは、限られた医療資源や人材の中で、新型コロナウイルス感染症以外の病気やケガの医療を停滞させないためにも大変重要なことなのです。以上をご理解下さり、是非皆様お一人お一人の主体的な行動で、皆様と皆様の大切な方の健康と命を守っていただきたいと思います。